

チー ム 身 延



身延町立身延小学校
Tel 0556-62-0066
Fax 0556-62-0368

学校の理念：「すべての子どもに笑顔があふれる学校を・・・」

空を眺めながら、朝夕のすがすがしい空気に触れると、夏から秋へと移り変わっていくのを感じます。まだ日中は暑いので、早朝を選んで草刈りをしていると、その空についっと現れるのがアキアカネやナツアカネ（違いは胸を横から見た黒帯のとがり方で識別）、ノシメトンボ（腹部の黒い斑文が熨斗目模様似ていることから）、赤とんぼと呼ばれるトンボたち。



古くはトンボを秋の虫という意味で「あきつ」と呼んでいたそうです。日本の国の名前も、昔は「秋津州（あきつしま）」と呼んでいました。この時季は、山田耕筰作曲の「赤とんぼ」を口ずさみたくくなります。日一日と残暑が引き、本格的に秋が訪れてきますね。

酷暑の夏から充実の秋へとバトン継走



オンラインによる始業式の様

夏休み中に、2学期に向けて職員会議を行いました。アンケート結果から「なりたい自分になるための10カ条」の「話をしっかり聞く」と「みんなで協力する」は、高評価でした。ただ残念なことに、「あいさつをしっかりとする」と「忘れ物をしない」の評価が低かったです。

令和4年度 2学期学級役員

学年	役職	氏名	ふりがな
2学年	会長	遠藤 美望里	えんどうみのり
2学年	副会長	市川 晴大	いちかわはれた
3学年	会長	依田 羽矢斗	よだはやと
3学年	副会長	市川 仁	いちかわじん
4学年	会長	市川ふふ実	いちかわふふみ
4学年	副会長	沼澤 芳成	ぬまざわよしなり
4学年	副会長	藤田 樹	ふじた いつき
5学年	副会長	市川 杏	いちかわ あん
5学年	副会長	氏原 かな美	うじはら かなみ
6学年	会長	山本 天瀬	やまもとあませ
6学年	副会長	岩浅 あおい	いわあさあおい

その評価を受けて、始業式の校長のあいさつの中で、以下のことを話しました。抜粋～ 言葉を大切にしながら、しっかりと挨拶ができる2学期にしましょう。先生方も意識してあいさつをします。もししていなかったら、声をかけてください。みんなで本気で取り組みましょう。学校がより素敵な学校に大きく変わるはずです。それが続けば身延小学校のよき伝統になります。家庭や学校での生活習慣もしっかりと行えるよう、普段から意識して取り組むことが大切です ～抜粋

リーダーとして凡事徹底・普段力の大切さを意識！

言葉の大切さも、以下の詩に置き換えて話しました。

「ひとつのことば」 北原 白秋

ひとつのことばで けんかして ひとつのことばで なかなおり

ひとつのことばで 頭が下がり ひとつのことばで 心が痛む

ひとつのことばで 楽しく笑い ひとつのことばで 泣かされる

ひとつのことばは それぞれに ひとつの心をもっている

きれいなことばは きれいな心 やさしいことばはやさしい心

ひとつのことばを大切に ひとつのことばを美しく



始業式でこの詩を朗読しました。子どもを取り巻く私たちがよきお手本になるよう率先垂範し、言葉（こころ）のキャッチボールを大切にしていきたいですね。

※独り言・・・身延高校の校歌は、北原白秋先生が作詞し、山田耕筰先生が作曲しました。巨匠のお二人が手がけた校歌は、全国的にも稀有の存在だと聞いています。高校球児だった私も、甲子園でこの校歌の披露を夢見て練習に打ち込んでいましたが・・・。

一人ひとりが、「気づき、考え、行動する」 避難訓練・引渡訓練特集



階段で地震に遭遇した場合

防災の日に合わせて、8月29日から9月2日を防災週間と位置づけ訓練を行いました。南海トラフ巨大地震（静岡県から宮崎県にかけて）の想定です。一部では震度7（這わなければ移動できない状態）になる可能性があるほか、近隣では、震度6強から震度6弱（揺れに翻弄され動くことができない状態）の強い揺れになると想定されます。

年度始めに配付させていただいた、「気象警報発令時及び災害発生時等の対応について」によると、震度5弱以上の地震が発生すると、原則的には、引き渡しをお願いすることになっています。但し、そのマニュアルにも書いてあるとおり、今、下校することで危険が伴う場合は、例外もあることをご承知おきください。地震以外でも台風や大雨の時などは、警報が発出されると、お迎えをお願いしなければなりません。豪雨の最中にすぐにお迎えをお願いするのは危険だと判断した場合は、天候が落ち着くまで、安全を第一に考え、学校で待機させる場合もあります。



教室で地震に遭遇した場合



引き渡し前の最終連絡

身延小学区の学童見聞録

8月24日の昼間のことでした。豊岡、身延、大河内、3つの学童に行ってきました。いよいよ明後日から学校なので、学童の先生方にご挨拶したり、子ども達の様子を見たりするためです。短時間の滞在でしたが、そこで、1年生の子どもから教わった事がありました。「校長先生、明後日は、笑顔で学校に行こうと思っています。」と話しかけてきました。素敵なことを話す女の子だなと、感心しました。コミュニケーション（挨拶・言葉のキャッチボール）のポイントは笑顔です。人は幸せだから笑顔になるだけではなく、笑顔でいるから幸せにもなります。さらに、その少女は、学童に行くときは、学童の先生にもきちんと挨拶をしているそうです。「おはようございます。今日はよろしく願います。」「いつもありがとうございます。」「お疲れ様です。」、帰る時には「ありがとうございました。さようなら。」等々、自然にその言葉が出てくるのだと、学童の先生がおっしゃっていました。1年生から大切な生き方を教わりました。心がポカポカしたひとときでした。ありがとうございました。

こぼれ話：ビートたけし編

おもて面の「あいさつ」の続きです。数年前にビートたけしが執筆した「新しい道徳の本」を読み返してみました。芸能界で生き抜くためには何が必要か。それは・・・挨拶ができるかできないかがポイントなのだそうです。社会生活や学校生活も同様ですね。自信をもって「笑顔のあいさつ」ができていると言えるよう、私たち大人も取り組んでみませんか。

赤ちゃんや子ども達は、沢山の笑顔を届けて周りの人を幸せにし、笑顔の輪は広がっていきます。大人になるにつれ、笑うことが少なくなったと感じる人もいることでしょう。私達も、笑顔で日々を過ごすことで毎日の中に多くの幸せがあることを感じることができます。無理に笑う必要はないのですが、自然と自分が笑顔になれる瞬間を大切にしたいものです。

いよいよ2学期がスタートしました。今学期も感染症に対して、今まで以上に緊張感をもった2学期になります。子どもたちはもちろんのこと、保護者の方々や地域の皆様、くれぐれも自分の心と体をいたわりながらお過ごしください。何よりも健康第一です。